

日刊 磐城時報

編輯部 磐城石城郡平町新田町... 印刷部 磐城石城郡平町新田町... 發行部 磐城石城郡平町新田町...

各団体總動員で 健康週間の奉仕

健康週間は二十四日から一週間、期間中は、産婆は無料で妊婦の診察に亘り執行されるが、期間中は、赤十字社、愛國婦人會、衛生會をなす、縣の診療班では二十五醫師會、齒科醫師會、藥劑師會日石城郡内を巡廻する事になつた。産婆會、看護婦會、理髮組合、食肉組合、牛乳組合、湯屋組合、湯屋組合、湯屋組合では朝湯をた

健康週間は二十四日から一週間、期間中は、産婆は無料で妊婦の診察に亘り執行されるが、期間中は、赤十字社、愛國婦人會、衛生會をなす、縣の診療班では二十五醫師會、齒科醫師會、藥劑師會日石城郡内を巡廻する事になつた。産婆會、看護婦會、理髮組合、食肉組合、牛乳組合、湯屋組合、湯屋組合、湯屋組合では朝湯をた

遭難の三遺族を 鄭重に慰籍

瓦斯爆遭難者三名 けふ磐炭で合同葬 磐城炭礦では過般町田坑内瓦斯後六時まで平町マルトモホール爆発のため惨死した三名に對して日本書壇の大家並に新進作家見舞金、弔慰金、規定による給與金等を含せ一千余圓宛を遺族に贈り鄭重に慰籍したが、二十一日午前十時磐炭所で合同葬を執行した。

榮川優等

全國品評會で 二十一日東京市瀧野川大藏省廳造試験所で行はれたが、優等に入選したもの本縣の銘酒「榮川」がある。榮川は昨年秋季東北學舍本年度卒業生五十七名は本一(二四)は同郡内郷村地内で十

日本畫展

東京大衆藝術社では二十二日、二十三日の兩日午前九時から午後六時品評會に於て最優等首席を

飯野村の財産家の息子 居酒屋で無錢飲食

飯野村大字上高久喜太郎長男大五郎(十五假名)で靴は盗んだものと判明平署では密告した政治さんを表彰した。

故四家訓導の 建碑式

平第二小學校児童は一昨年秋豊間村四家訓導の建碑金を募集中であつたが百十餘圓に達したので二十四日三週年忌當日豊間村共同墓地に恩師四家安男先生の墓といふ碑を建て法要を営む事になつた。

健康週間

平署では十四日から一週間の健康週間に管内各町村に亘りポスターを配り廿二日褒賞授與

木炭品評會

廿二日褒賞授與 石城郡三阪、澤渡、渡戸、箕輪四ヶ村の木炭品評會は二十二日永戸村渡戸小學校に開催するが出品二百点に達する見込で濱三郡木炭同業組合から渡邊指導員木炭検査平文所から猪瀬、山口兩吏員出張審査し二十三日褒賞授與式を行ふ。

人事係の勇敢な行爲 表彰方を知事に申請

赤井村大字高秋福島炭礦坑夫尾にて松本、岡部兩講師引率の形金二(二)は去る十五日爆発に二泊三日の豫定で大東京見學兩吏員出張審査し二十三日褒賞授與式を行ふ。

泥棒と格闘 平署に引渡す

千葉縣海上郡銚子町生れ當時住所不定漁夫鈴木隆二(二五〇)は二義(七ツ)をはねとばし人事不省に逃げ込み金品物色中正夫に発見され逃走せんとしたが正夫が追跡大格闘の上取り押へ平署に引渡した、平署で余罪取調べ中

靴屋さん表彰

平町七丁目靴商荒木政治方へ十日夜赤皮靴一足を賣らうとし

泥棒密告

平町七丁目靴商荒木政治方へ十日夜赤皮靴一足を賣らうとし

自動車事故

湯本町自動車業鈴木稲實方運轉手大平勇が平署に密告するうら右少年は逃走したが、二十日檢擧して調

鈴木積善師逝く

夏井村如來寺住職で東京市小石川區傳通會館の主事をしてゐた

季節料理

よせなへ かきなべ... 煮込みなべ... 豚なべ... 鳥なべ... 魚なべ... 天ぷら... 揚げ物... 刺身... 寿司... 漬物... 干物... 佃煮... 煮干し... 佃煮... 煮干し...

魚清食堂

平三善善道 魚清食堂 電話六三三三

四君入營

平町左記 四君は二十一日午前九時一分平署に上り列車で獨立守備隊へ入營のため出發した。

四倉町人事

四倉町役場調査による十月末日までの出生二十七名、男十四、女十三、死亡十四名、男八、女六、婚姻十一組。

漆畑氏追悼會

故漆畑元吉氏の追悼會は青沼平町長外數氏發起となり二十四日午前十一時から大寶寺で行ふ。

於
全
國
清
酒
品
評
會

酒 銘
榮 州

優◎
等◎
賞◎
受◎
領◎

於	於	於
今年	去年	過去五年
全國	東北六縣	福島縣下
同	同	清酒品評會
優等賞	首席優等賞	最優等賞
領受	領受	領受

釀造元 會津若松 宮森榮四郎
 特約店 平町 永山酒店